

令和7年度 選挙管理委員会事務局組織目標

組織名	選挙管理委員会事務局	部長	選挙管理委員会事務局長 三屋 宰子
組織の目的・方向性	公職選挙法などの法令に基づき、選挙が公明かつ適正に行われるよう、各種選挙の執行・管理及び選挙に関する啓発を行います。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*			

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

選挙管理委員会事務局組織目標

今年度は7月に参議院議員通常選挙が予定されています。昨年の衆議院議員総選挙に続く国政選挙であり、物価対策など有権者の関心も高いことが予想されることに加え、2票選挙で交付誤りなどの事務ミスの発生する可能性が高いことから、より一層ミスのない執行を心がける必要があります。また、7月の非常に暑い時期での執行となることから、従事者の熱中症対策などの健康管理の必要があると考えています。また、これまでの期日前投票所に加え、選挙人の利便性向上のため、新たに商業施設での期日前投票の実施を予定していることから、万全の体制で執行ができるよう関係者と連携を図ります。

昨年10月の衆議院議員総選挙では大きなミスはありませんでしたが、過去に発生したミス事例を再発させないため、選挙事務マニュアルの不断の見直しと従事者への周知徹底、選挙事務研修や実務者会議を通じた問題点の把握並びに解決策の検討による事務執行能力の向上に引き続き取り組みます。

また、特に投票率の低い若年層の皆さんから、選挙そのものに関心を持っていただき、少しでも投票率が向上するよう啓発事業を進めます。

重点目標

- 1 選挙の公正かつ効率的な執行を図ります。
- 2 特に投票率の低い若年層への選挙啓発活動を推進します。
- 3 明るい選挙推進協議会との協力による選挙啓発活動を実施します

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	3	達成数	3
取組結果	7月の参議院議員通常選挙、2月の衆議院議員総選挙いずれも、大きなミスもなく無事に執行できました。模擬選挙や出前授業は衆議院の解散総選挙により実施できなかったものの、新潟青陵大学との連携事業において市議会議員との交流事業を行いました。また、明推協との連携事業も、8月の新潟まつりの民謡流しや地域のイベント等に合わせて街頭啓発活動を実施しました。				
今後の方向性	引き続き、問題事例の把握及びその対応策を検討し、選挙事務マニュアルを見直すとともに、対応策の周知徹底を図り、選挙事務能力の向上に努めます。 若年層の投票率の低下傾向が顕著となっていることから、学校を通じての主権者教育を実施するとともに、投票率の向上に向けた対策について引き続き検討していくことが必要と考えています。				